

糖尿病と検査について

怖い糖尿病

4人に1人は糖尿病!!

平成19年の厚生労働省による糖尿病実態調査によると、予備軍を含め、2、210万人（成人4人に1人）の糖尿病患者が我が国にしていると報告されています。

合併症 それが怖い!!

糖尿病は自覚症状がないため、健康診断などで、初めて気付くことがあります。

糖尿病といわれても治療をしない人が少なくありません。

血糖値が高いというだけでは、痛くも痒くもありません。つい、放ったらかしになりがちです。その結果、合併症を引き起こすことがあります。（それが怖い!!）

健康診断で血糖値が高い、糖尿病の疑いがあるといわれたら、受診しましょう。

糖尿病の初期段階で、生活習慣を見直し、血糖コントロールを行えば、合併症は起らないと言われています。



臨床検査技師
長谷川愛子

糖尿病の検査

検査室では患者さまの血液・尿を測定して、血糖・HbA1c・尿検査などの検査結果を迅速に報告し、糖尿病かどうか、合併症はないか？また、あった場合は進行状態がどの程度のものなのか？調べています。

我々、臨床検査技師の出番です!



左から田中雅彦技師、長谷川愛子技師、松井みどり技師

問い合わせ先
岩美病院
☎73 - 1421

主な検査をご紹介します

血糖（グルコース）
血糖とは、血液中のブドウ糖の濃度を表します。
血糖検査でわかるのは、検査した時点での血糖値です。

基準値

	空腹時血糖値	食後2時間値
正常(型)	110mg / dl未満	140mg / dl未満
境界(型)	110~126mg / dl未満	140~200mg / dl未満
糖尿病(型)	126mg / dl以上	200mg / dl以上

当院には糖尿病の患者様を対象に、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師などが協力して、外来糖尿病教室、また、糖尿病教育入院に取り組んでいます。気になることや相談してみたいこと、糖尿病教室を受けてみたい方は内科外来にお気軽にご相談ください。

HbA1c（ヘモグロビン・エワンシー）
基準値は4.3~5.8%で、6.5%以上だと糖尿病と判定されます。
HbA1cとは、ブドウ糖と結合している特殊なヘモグロビン（グリコヘモグロビン）の割合をパーセント（%）で表す、過去1~2カ月間の平均的な血糖の指標です。
HbA1cの値が高ければ、1~2カ月間血糖値の高い状態が続いていたことを表します。